

令和 2 年度

事業報告書



社会福祉法人

古河市社会福祉協議会

— 目 次 —

社協組織	P 3
1. 法人運営	P 4
(1) 理事会、評議員会、監事会、各委員会の開催	
(2) 財源確保	
(3) 広報、啓発活動	
(4) その他関連事業	
2. ボランティア活動の推進・福祉人材育成事業	P 10
3. 支援・援助事業	P 12
4. 貸付事業	P 17
5. 共同募金への協力	P 17
6. 介護保険事業	P 18
7. 障害者総合支援事業	P 19
8. 受託事業	P 20
9. 指定管理事業	P 28

令和2年度 古河市社会福祉協議会 事業報告書

令和3年3月31日現在

社協組織

執行体制（38名）

・会 長	1名	・副会長	2名	・常務理事	1名
・理 事	9名	・監 事	2名	・評議員	23名

職員体制（122名） 【R元年度118名】

○事務局（正職・嘱託）47名 【R元年度48名】

・局長	1名	・次長	1名	・課長	1名	・副参事	1名	・課長補佐	3名
・係長	11名	・主幹	6名	・主事	6名	・嘱託	11名	・再任用	6名

○臨時職員8名 【R元年度8名】

（内訳）

・地域福祉係	2名	・地域包括支援センター	2名
・総和老人福祉センター	2名	・在宅支援係	2名

○非常勤職員67名 【R元年度62名】

（内訳）

・登録ホームヘルパー	34名	・日常生活自立支援事業支援員	16名
・せせらぎの里	4名	・ふれあいの湯、デイスティ	12名
・給食サービス	1名		

図1 雇用形態別職員表

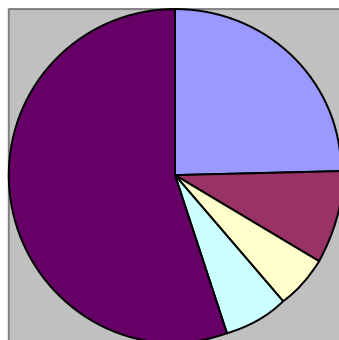
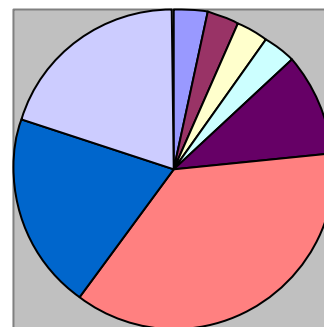


図2 役職別職員表



■ 事務局長	1
■ 次長	1
■ 課長	1
■ 副参事	1
■ 課長補佐	3
■ 係長	11
■ 主幹	6
■ 主事	6

1. 法人運営

(1) 理事会・評議員会・監事会・各委員会の開催

①理事会(全4回) 【R元年度5回開催】

第1回

議 事

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議

- ①令和元年度社会福祉法人書面検査結果報告について
- ②古河市社会福祉協議会理事候補者の選任について
- ③古河市社会福祉協議会評議員候補者の選任について
- ④令和元年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算(第3号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて
- ⑤令和元年度 古河市社会福祉協議会事業報告について
- ⑥令和元年度 古河市社会福祉協議会収支決算について
- ⑦評議員会の招集事項について

第2回

開催日

令和2年9月2日(水) 午後1時30分

会 場

古河福祉の森会館 研修室4・5

出席者

理事13名 監事2名

議 事

- ①職務執行状況の報告について
- ②令和2年度 第1回共同募金配分委員会の報告について
- ③令和2年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算(第1号)について
- ④評議員会の招集事項について

第3回

開催日

令和3年3月5日(金) 午後1時30分

会 場

古河福祉の森会館 研修室4・5

出席者

理事13名 監事2名

議 事

- ①職務執行状況の報告について
- ②令和2年度 第2回共同募金配分委員会の報告について
- ③古河市社会福祉協議会評議員候補者の選任について
- ④令和2年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算(第2号)について
- ⑤令和3年度 古河市社会福祉協議会事業計画(案)について
- ⑥令和3年度 古河市社会福祉協議会収支予算(案)について
- ⑦評議員会の招集事項について
- ⑧古河市社会福祉協議会理事候補者の選任について

第4回

開催日

令和3年3月26日(金) 午後1時

会 場

古河福祉の森会館 研修室4・5

出席者

理事11名 監事2名

議 事

- ①令和2年度 第3回福祉事業推進委員会の報告について
- ②古河市社会福祉協議会理事候補者の選任について
- ③評議員会の招集事項について

②評議員会（全3回）【R元年度3回開催】

第1回

開催日 令和2年6月23日（火）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 研修室4・5
出席者 評議員20名
議 事 ①古河市社会福祉協議会理事の選任について
②令和元年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算（第3号）の専決処分
の報告及び承認を求めることについて
③令和元年度 古河市社会福祉協議会事業報告について
④令和元年度 古河市社会福祉協議会収支決算について
⑤社会福祉法人古河市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会設置
規程の制定について

第2回

開催日 令和2年9月18日（金）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 研修室4・5
出席者 評議員17名
議 事 ①令和2年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算（第1号）について

第3回

開催日 令和3年3月30日（火）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 研修室4・5
出席者 評議員16名
議 事 ①古河市社会福祉協議会理事の選任について
②令和2年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算（第2号）の専決処
分の報告及び承認を求めることについて
③令和2年度 古河市社会福祉協議会補正収支予算（第3号）について
④令和3年度 古河市社会福祉協議会事業計画（案）について
⑤令和3年度 古河市社会福祉協議会収支予算（案）について

③監事会（全1回）【R元年度1回開催】

開催日 令和2年5月14日（木）午前10時
会 場 社会福祉協議会 相談室
出席者 監事2名
内 容 ①令和元年度の監査について

④評議員選任・解任委員会（全1回）【R元年度2回開催】

第1回

開催日 令和2年6月2日（火）午後1時30分
会 場 古河福祉の森会館 研修室4・5
出席者 評議員選任・解任委員4名
議 事 ①古河市社会福祉協議会評議員の選任について

⑤共同募金配分委員会（全3回）【R元年度2回開催】

第1回

開催日 令和2年8月18日（火）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 研修室4, 5号
出席者 委員5名
議 事 ①委員長、副委員長選任について
②令和2年度歳末たすけあい事業配分について
③社会福祉法人古河市社会福祉協議会歳末たすけあい事業実施要綱の一部改正について
④その他

第2回

開催日 令和2年11月17日（火）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 研修室6号
出席者 委員5名
議 事 ①令和2年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分対象者及び歳末地域たすけあい事業配分対象団体の決定について
②令和2年度歳末たすけあい事業要援護世帯援護金配分金額及び歳末地域たすけあい事業配分金額の決定について

第3回

開催日 令和3年2月25日（木）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 ボランティアセンター
出席者 委員5名
議 事 ①令和2年度歳末たすけあい募金配分金事業要援護世帯の報告について
②その他
生活困窮者支援を目的とした緊急一時的な新規事業「ももちゃんフードネットワーク」の経過報告について

⑥苦情解決第三者委員会（全1回）【R元年度0回開催】

第1回

開催日 令和2年7月21日（火）午前10時
会 場 古河福祉の森会館 研修室6
出席者 苦情解決第三者委員2名
報告件数 6件

⑦役員（理事・監事）研修（全1回）【R元年度1回開催】

第1回

開催日 令和2年9月2日（水）午後1時30分
場 所 古河福祉の森会館 ボランティア活動センター
出席者 役員13名 職員8名
内 容 地域力強化推進事業について

⑧法人後見運営委員会（全3回）【R元年度4回開催】

原則2ヶ月に1回（偶数月の第4木曜日）開催。案件等がない場合は中止。

	実施年月日	協議内容
第1回	令和2年 4月23日（木）	任意後見受任審査等
第2回	令和2年10月22日（木）	法人後見受任審査等
第3回	令和3年 1月 7日（木）	法人後見受任審査等



⑨衛生委員会（全12回）【R元年度12回開催】

毎月1回開催し、内3回は職場巡視を行いました。

	実施年月日	協議内容
第25回	令和2年 4月21日（火）	今年度の取組について等
第26回	令和2年 5月12日（火）	職場巡視（古河事務所）等
第27回	令和2年 6月 9日（火）	ストレスチェックの実施について等
第28回	令和2年 7月14日（火）	職場巡視（三和事務所）等
第29回	令和2年 8月11日（火）	ストレスチェックの結果を踏まえて等
第30回	令和2年 9月 8日（火）	結核について（結核予防週間）等
第31回	令和2年10月13日（火）	インフルエンザ予防接種について
第32回	令和2年11月10日（火）	「健康チャレンジ」について等
第33回	令和2年12月 1日（火）	職場巡視（老人センター等）
第34回	令和3年 1月12日（火）	コロナハラスメントについて等
第35回	令和3年 2月 2日（火）	新型コロナウイルスの感染について等
第36回	令和3年 3月 9日（火）	次年度の内容について等

（2）財源確保

①社会福祉協議会会費

社協財源の基盤となる会費を各世帯や企業等に協力していただきました。

特別（大口）会費については、事務局長以下係長までの職員が再度各企業に訪問して協力依頼を実施しました。

（単位：円）

	令和2年度	令和元年度	前年度比
一般会費	10,334,790	10,715,720	389,930 減
特別会費	582,000	648,000	66,000 減
特別大口会費	3,255,000	3,511,000	256,000 減
合 計	14,171,790	14,874,720	702,930 減

②寄付の受け入れ・払い出し

寄付金の他に主な物品の預託としては、使用済み切手・プリペイドカード・ベルマーク・書き損じはがき等で、定期的に預託される方や企業の社会貢献活動の一環として預託していただきました。



受入れ合計 233 件

金額合計 2,182,142 円【R 元年度 219 件 2,311,200 円】

③不要入れ歯回収事業

新しい入れ歯の作製に伴い、古くなった入れ歯は不要（ゴミ）となっていました。この入れ歯には貴重な貴金属が含まれており、まとめて精製し取り出された金属をリサイクルすることにより資源として生まれ変わります。その利益がユニセフを通じての支援や回収団体に寄付（換金額の 40%）され、ボランティア活動に役立つことになります。また、ゴミをリサイクルすることでエコロジーの面からも社会に大きく貢献しています。

収益金 令和 2 年度 25,624 円 【R 元年度 28,964 円】

（３）広報・啓発活動

①社協だよりの発行

年間全 4 回（6 月、10 月、12 月、3 月）発行しています。活動内容及び報告掲載他、マスコットキャラクター ももちゃんを活用して広報活動を実施しました。

- ・作成数 47,000 部
- ・配布先 古河市内全戸、関係機関等

第 46 号 ～助け合い・支え合いの仕組みづくり～

発行日 令和 2 年 6 月 1 日

第 47 号 ～みんなで支え合う人づくり～

発行日 令和 2 年 10 月 1 日

第 48 号 ～多様な主体による地域福祉活動の活性化～

発行日 令和 2 年 12 月 1 日

第 49 号 ～必要とされる社会福祉協議会づくり～

発行日 令和 3 年 3 月 1 日



②ホームページの公開

社協ホームページの中に「ももちゃんブログ」を開設し、社協活動の画像を公開することで PR をしております。

ホームページアドレス URL <http://www.koga-syakyo.com/>

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
総閲覧者数	80,300 件	71,427 件	8,873 件増

(H23.6 開設)

③社協ももちゃん活動

社協の事業を市民に理解していただくため、平成 26 年度に誕生したマスコットキャラクター

『ももちゃん』を地域でのイベント参加や冊子に掲載し、社協PRを実施しました。

《参加イベント》

※新型コロナウイルス感染症の影響で実績なし



(4) その他関連事業

①Koga インクルーシブフェスティバル 2020 の開催

開催日 令和3年2月20日(土)

場 所 道の駅 まくらがの里こが

内 容 作品展示

※新型コロナウイルス感染症拡大の為、規模縮小



②第70回 茨城県社会福祉大会

開催日 令和2年10月9日(金)

場 所 牛久市中央生涯学習センター

顕彰者 33名

※新型コロナウイルス感染症拡大の為、式典中止。表彰状、感謝状は後日配布しました。

③社協職員研修の開催 (全3回)

交通安全講習会

開催日 第1回：令和2年11月11日(水)

第2回：令和2年11月12日(木)

場 所 古河福祉の森会館 研修室4・5

出席者 47名

内 容 ・交通事故状況について
・交通安全に関するDVDの上映



個人情報保護法に関する研修

開催日 第1回：令和3年1月22日(金)

第2回：令和3年1月27日(水)

場 所 古河福祉の森会館 研修室4・5

出席者 49名

内 容 ・個人情報保護法について
・判例から学ぶ個人情報保護法等



災害ボランティア設置運営等研修

開催日 令和3年3月6日(土)

場 所 古河市三和地域福祉センター

出席者 27名

内 容 ・災害発生後の被災者、支援者の感染症予防について・設置運営等

2. ボランティア活動の推進・福祉人材育成事業

(1) ボランティアの発掘と育成

① ボランティアセンター運営事業

地域社会において住民の参加するボランティア活動を推進し、市民一人ひとりが安心して暮らせる福祉コミュニティ作りを目的としています。

「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽にボランティアに参加できる環境づくりを目指し、ボランティア活動に関する相談、登録、コーディネート及びボランティア活動を行なう上での拠点の提供を行いました。また、ボランティア活動情報の収集、提供と活動に関する講座等の開催、ボランティアグループとの連絡調整の緊密化等、ボランティア活動がより豊かなものになるように支援に努めました。

登録・活動申込

- ・団体登録数 63 団体 (会員 1,792 名) 【R 元年度 66 団体 (会員 1,971 名)】
- ・活動申込件数 2 件 (団体 2 件・個人 0 件) 【R 元年度 3 件】
- ・コーディネート件数 4 件 【R 元年度 38 件】

ボランティア活動保険への加入

ボランティア個人またはボランティアグループなどがボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任に備え、加入事務手続きを行いました。

② 児童・生徒ボランティア活動協力校の指定及び連携

市内小中学校及び高等学校等をボランティア協力校として指定し、児童・生徒に対するボランティア活動の普及活動に取り組みました。また、様々なボランティア事業への積極的な参加協力を促進しました。(上限額：30,000 円)

- ・小学校 23 校中 (30,000 円 19 校、補助金辞退 4 校)
- ・中学校 9 校中 (30,000 円 4 校、20,000 円 1 校、補助金辞退 4 校)
- ・中等教育学校 1 校中 (補助金辞退 1 校)
- ・高等学校 5 校中 (30,000 円 1 校、1,000 円 1 校、補助金辞退 3 校)
- ・専門学校 3 校中 (30,000 円 1 校、補助金辞退 2 校、)
- ・短期大学 1 校中 (30,000 円 1 校)

③ 学生ボランティアサークル「ふうせん」の育成援助

ボランティア活動に関心のある中学生以上の学生によって組織され、代々活動が受け継がれています。市で行う行事や福祉まつりをはじめ、子ども会行事への協力を行っています。

感染予防対策もしっかりして実施

- <会員数> 33 名 【R 元年度 38 名】
- <自主活動>



- ・夏期育成研修会

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- ・研修会・新入会員歓迎会

令和2年12月13日（日）7名

（さしま少年自然の家）

- ・春期育成研修会

令和3年 3月29日（月）5名

（さしま少年自然の家）



<派遣活動>

※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣活動無し

④ふくしチャレンジスクールの開催

ボランティア体験月間にあたる夏休みを利用した体験学習を通して、自立性・協調性を培うと共に福祉への興味・関心を高め、ボランティア活動への取り組みのきっかけ作りを目的に実施しました。

やっチャオ！2020（5・6年生）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

例年は茨城県立さしま少年自然の家で実施

行っチャオ！2020（3・4年生）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

例年は東日本盲導犬協会及び栃木県防災館見学

※「やっチャオ！2019」より



⑤ふくしまつりの開催

（ふれあい広場・手づくりまつり）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- ・ふれあい広場

会 場 ネーブルパーク

参加団体 47団体（予定）

来場者 約5,000名（予定）

- ・手づくりまつり

会 場 古河福祉の森会館及び周辺

参加団体 39団体（予定）

来場者 約2,000名（予定）



（２）活動拠点の整備

古河福祉の森会館ボランティア市民活動センター

利用回数 160日 利用者累計 3,343名 【R元年度186日・3,933名】

(3) 福祉人材の育成事業

①地域サポーター養成講座（入門編・実践編）

複雑・多様化するニーズに対応するため、市民と共に支援する仕組みづくりが重要となります。住み慣れた地域での暮らしをサポートするための人材を育てることを目的に、福祉の基本を学び、質の高い人材を養成し確保するために実施しました。

入門編

開催日 令和2年12月3日（木）
会場 古河福祉の森会館 視聴覚室
受講者 18名
内容 ・社協って何？社協概要と事業について
・ボランティアの心構え、活動紹介
・コミュニケーションの基礎



実践編

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

3. 支援・援助事業

(1) ひとり暮らし高齢者給食サービス（会食型）の実施

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、引きこもりの防止と介護予防を目的に各公民館等において各地区民生委員の協力をいただき、バイタルチェックやボランティアによる食事の提供を実施しております。さらに、ボランティア同士の交流会、研修会も行っています。

実施会場 9会場（各月1回）予定

利用者累計 0名【R元年度 1,502名】

ボランティア【調理ボランティア（0名）、生きがい活動ボランティア（0名）】

※新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となりましたが、「安否確認」及び「心身のケア」を図るため、個人宅への定期訪問活動を行いました。

・自宅訪問回数 延べ1,042回

《ボランティア団体意見交換会》

開催日 令和2年8月27日（水）

会場 古河福祉の森会館2階 ボランティアセンター

参加者 15名

内容 ひとり暮らし高齢者給食サービス再開に向けて

《各ボランティア団体別意見交換会》

開催数 9回（各9会場）

参加者 延べ92名

内 容 ひとり暮らし高齢者給食サービスの再開に向けて

(2) ふれあいいきいきサロン事業

地域住民が自主的に企画運営をし、人と人とを結ぶ交流の場、仲間づくりの場を目指した活動を行いました。また、サロン運営に対しての助成金交付や活動、開設についての助言を実施しました。

サロン数 55サロン【R元年度 57サロン】
(内訳) 古河地区 29サロン【R元年度 34サロン】
総和地区 13サロン【R元年度 12サロン】
三和地区 13サロン【R元年度 11サロン】

《ふれあいいきいきサロン事業説明会》

※新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を鑑み、文書にて令和3年度の登録、助成金の申請に関する説明を実施しました。

発送日 令和3年2月1日(月)

会 場 古河福祉の森会館 視聴覚室

発送先 55サロン

内 容 ・次年度登録書類一式
・次年度助成金申請書類及び当年度事業報告書一式

(3) 在宅福祉サービスセンター運営事業 (愛称「ももちゃんお助け隊」)

住民参加型の非営利的な会員制の在宅サービスで、高齢者や障がい者などがいる家庭や、子育て中の家庭に対し家事援助などの支援を行いました。(月～土曜日 ※日曜日・祝日を除く)「ももちゃんお助け隊」と愛称を付けて協力会員、利用会員の増加を図っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の活動を制限いたしました。

利用会員 189名 【R元年度 225名】
協力会員 61名 【R元年度 70名】
支援回数 1,654回 【R元年度 1,993回】
支援時間 2,343時間 【R元年度 2,919時間】
・掃除 1,598.5時間
・食事調理 345.5時間
・買い物 326.0時間
・話し相手 6.5時間
・通院介助 4.5時間
・洗濯等 62.0時間



《ももちゃんお助け隊現任研修》

開催日 令和3年3月23日(水)

会 場 古河福祉の森会館 ボランティア活動センター

参加者 16名

- 内 容 ・事業概要、活動時の心構えと注意事項
 ・協力会員登録から活動までの流れ、事故が起きたときの対応等

（４） 陶芸教室事業

高齢者及び障がい者の社会参加を促すことを目的に、生きがいをづくり、引きこもり防止、認知症の予防及びリハビリのため創作活動を行いました。

開催日 毎週月曜日～金曜日 午前９時～１２時３０分

会 場 古河福祉の森会館 陶芸室

対象者 市内在住６５歳以上又は軽度な障害のある方

利用者 ３６名

（５） 法人後見受任事業

適切な後見人がいない方や虐待による深刻な権利侵害を受けている方で、「法人後見運営委員会」において受任が適当と認められた方に対し、古河市社会福祉協議会が法人として、後見人等を受ける事業です。

<問い合わせ・受任件数等>

	R ２ 年度	R 元 年度	前年度比
問合せ・初回相談件数	８ ９ 件	６ ３ 件	２ ６ 件 増
支援回数	５ ４ ６ 件	７ ５ ２ 件	２ ０ ６ 件 減
新規受任件数	１ 件	４ 件	３ 件 減
後見等終了件数	２ 件	３ 件	１ 件 減
任意後見契約	１ 件	０ 件	１ 件 増
現在（年度末）受任者数	１ ４ 件	１ ４ 件	１ 件 減

※受任者内訳

	認知症高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		その他		合計
	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	後見	保佐	
後見等	５	１	１	０	４	０	２	０	１ ３
後見監督	０	０	０	０	０	０	０	０	０
任意後見契約									１
									１ ４

<担当職員等の会議・研修> ※全てオンラインでの参加

会議・研修名	開催年月日	内 容	参加人数
成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎）	令和２年９月１日～ 令和２年１０月３０日	権利擁護支援の基本について等	１名
成年後見制度利用促進体制整備研修（応用）	令和２年１０月１日～ 令和２年１２月１８日	中核機関職員に求められるスキルの習得について等	２名
成年後見制度研修会	令和３年２月２６日	中核機関業務に係る実践報告について等	２名

＜説明会・検討会等の参加＞ ※全てオンラインでの参加

説明会・検討会名	開催年月日	内 容	参加人数
成年後見制度利用促進市町村個別検討会	令和2年12月12日	中核機関設置・協議会運営について等	2名
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	令和3年1月28日	定住自立圏を基盤とした広域連携について等	2名
法人後見実施団体連絡会	令和3年3月8日	成年後見制度利用促進に係る県内の状況報告等	2名

（６）救 援 活 動

①行旅人に対する援助

遠隔地から仕事探し等のために居住地を出て来たが、帰るための旅費がなくなってしまう方を対象とした援助を行いました。（200円）

10件 2,000円 【R元年度13件・2,600円】

②緊急生活支援対策事業

古河市における生活困窮者等に対する支援の一環として、緊急的な対応を必要とする世帯に対し、緊急支援を行ないました。

救援物資支給 15件 〈内訳〉 お米券 61枚【R元年度84枚】
Q U Oカード 43枚【R元年度31枚】

③生活困窮者を対象とした支援事業（ももちゃんフードネットワーク）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、休業・休職や失業等により収入が減少し、厳しい生活状況にある方が増加したことから、困窮状態にある方に対して無償で食料（食糧）の提供を実施しました。

・配布数 247セット



④風水震災被災者に対する援助

火 災 全焼20,000円 半焼10,000円のお見舞い

・全焼 5件 ・半焼 2件【R元年度 全焼7件・半焼0件】

（７）福祉用具等の貸出

	R2年度	R元年度	前年度比
車椅子	219件	266件	47件減
介護用ベッド	99件	98件	1件増
チャイルドシート	貸出終了	60件	0件増

(8) 各種団体に対する援助

①古河市民生委員児童委員第1地区協議会	255,000円
②古河市民生委員児童委員第2地区協議会	190,000円
③古河市民生委員児童委員第3地区協議会	323,000円
④古河市民生委員児童委員第4地区協議会	168,000円
⑤古河市民生委員児童委員第5地区協議会	132,000円
⑥古河市身体障害者(児)福祉団体連合会	570,000円
⑦古河市心身障害児(者)父母の会連合会	330,000円
⑧学生ボランティアサークルふうせん	300,000円
⑨古河市青少年相談員連絡協議会	50,000円
⑩古河市子ども会育成連合会	220,000円
⑪古河市母子寡婦福祉連合会	180,000円
⑫古河市ボランティア協会	750,000円
⑬古河市老人クラブ連合会	435,600円
⑭更生保護女性会古河支部	50,000円
⑮古河市聴覚障害者協会	30,000円
⑯古河市視覚障害者協会	20,000円
⑰古河市くらしの会	30,000円

17団体合計

4,033,600円

【R元年度 17団体・4,033,600円】

(9) 心配ごと相談事業

開催日	毎週水曜日 午後1時30分～3時30分
場 所	総和福祉センター「健康の駅」、三和地域福祉センター
相談件数累計	51件【R元年度 52件】
相談内容	・生計6件 ・職業0件 ・家族13件 ・病気7件 ・人権7件 ・財産2件 ・事故0件 ・土地 1件 ・近所間のトラブル3件 ・その他12件

(10) 古河市老人クラブ連合会への支援

明るい長寿社会づくりと保健福祉の向上を目指し、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織としての事務局運営を支援しました。

・市内老人クラブ数 132クラブ (R元年度 133クラブ)

4. 貸付事業

①生活福祉資金貸付

茨城県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯をはじめ、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対して、世帯の自立を支援することを目的に貸付に関する相談や申請事務手続きを行いました。

また、新型コロナウイルス感染症による影響による休業や失業等により、生活資金が必要な方に対し、令和2年3月25日より特例貸付の申請が開始されました。

貸付申請件数 13件【R元年度 6件】

- ・総合支援資金 3件 ・福祉資金 4件 ・教育支援資金 5件
- ・不動産担保型生活資金 1件

特例貸付申請件数 2,153件（令和2年3月25日～令和2年度末）

- ・緊急小口資金特例貸付 1,148件
- ・総合支援資金特例貸付 865件
- ・総合支援資金特例貸付（延長） 32件
- ・総合支援資金特例貸付（再貸付） 108件

②生活一時資金貸付

古河市社会福祉協議会の自主事業で、低所得世帯に対する支援として貸付を行いました。

- ・貸付件数 12件【R元年度 15件】
- ・貸付金額 257,000円【R元年度 240,900円】
- ・償還完了件数 5件【R元年度 6件】

5. 共同募金への協力

茨城県共同募金会古河市共同募金委員会として、令和2年度共同募金運動（赤い羽根募金、歳末たすけあい募金）、災害たすけあい義援金の募金活動を実施しました。

《実績額》赤い羽根募金	21,018,454円【R元年度 21,361,028円】
歳末たすけあい募金	8,483,505円【R元年度 8,499,802円】
災害たすけあい義援金	227,198円【R元年度 849,253円】
（内訳）令和2年7月豪雨災害義援金	207,198円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	20,000円

①歳末たすけあい配分事業

自己申請方式により、下記の対象世帯に一律10,000円を配分しました。

（R元年度配分金 対象世帯あたり一律11,000円）

※協力いただいた金額と申請件数によって金額は変動いたします。

	配分対象別	配分金額(円)	合計(件)
1	満70歳以上のひとり暮らし高齢者	5,090,000	509
2	満70歳以上の高齢者のみ世帯	1,190,000	119
3	満70歳以上の高齢者が中学3年生以下の子どもを養育している世帯	0	0
4	要介護3以上の認定を受けている方のいる世帯	100,000	10
5	準要保護世帯の認定を受けている世帯	110,000	11
6	中学3年生以下の子どもを養育しているひとり親世帯(母子・父子)であり児童扶養手当を受給している世帯	280,000	28
7	障害者のいる世帯・身体障害者手帳1・2級 ・療育手帳ⅢまたはA ・精神障害者保健福祉手帳1・2級 ・障害者年金1級・2級	710,000	71
	合 計	7,480,000	748

【R元年度 7,931,000円・721件】

6. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

介護認定を受けた方の状況に応じて、利用者主体のケアマネジメントに取り組んでまいりました。また、特定事業所として、支援困難ケースの受け入れ、地域包括支援センターが開催する地域ケア個別会議への参加、社協内研修の開催並びに各種研修会へ積極的に参加しました。専門職としてのスキルを高めながら、利用者が住み慣れた地域で生き生きと自立した生活が送れるようなケアマネジメントを実施しております。

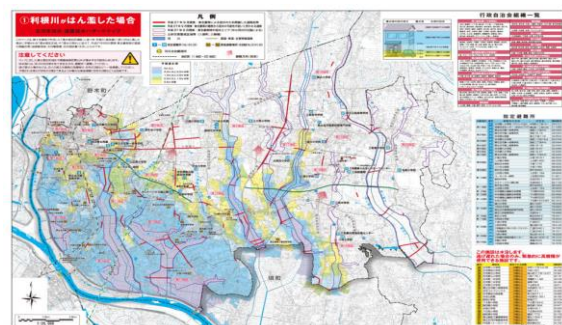
《R2年度延べ利用者数》

	R2年度	R元年度	前年度比
居宅介護支援	2,510名	2,571名	61名減
介護予防支援	593名	689名	96名減

災害時において配慮が必要な方に対して、「古河市避難行動要支援者調査票（個別支援計画）」を作成します。災害時においては、利用者の安全の確認を行い行政機関等の関係機関と情報の共有を図るよう努めました。

《R2年度個別支援計画作成数》

	R2年度
要支援者	65名



(2) 訪問介護事業

介護認定を受けた高齢者等に対し、入浴・排泄・食事の介助、生活支援サービスを

古河市のハザードマップも活用！

提供しました。高齢者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ日常生活を営むことができるように留意しました。また、特定事業所として、社協内研修の実施や各種研修会に積極的に参加しました。令和2年11月に、「移動・移乗介助方法、介護者の腰痛予防について」の内容で、社会福祉法人芳香会リハビリ専門職の方に、講義及び実技指導していただきました。



訪問介護員33名参加しました！

《R2年度延べ利用者数》

	R2年度	R元年度	前年度比
訪問介護	4,898名	5,305名	407名減
総合事業	2,670名	2,030名	63名増

(3) 移送サービス事業

訪問介護事業の移送サービスに付帯して、社協の公用車を使用して実施しています。また、関東運輸局茨城運輸支局長から自家用自動車による有償運送の許可を取得しています。

《R2年度延べ利用者数》

	R2年度	R元年度	前年度比
移送サービス	349回	677回	328回減

7. 障害者総合支援事業

(1) 指定居宅介護事業

在宅で生活されている障がいのある方に対して、入浴・排泄・食事の介護並びに家事支援サービスを提供しました。

	R2年度	R元年度	前年度比
指定居宅介護事業	387名	395名	8名減
同行援護	72名	91名	19名減
重度訪問事業	32名	19名	13名増

(2) 障害者移動支援事業

外出時における同行援護、移動支援サービスを提供しています。

	R2年度	R元年度	前年度比
移動支援事業	0名	0名	—

8. 受託事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分で、親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行いました。

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
支援中	2 3 件	2 5 件	2 件減
新規契約	2 件	1 件	1 件増
契約終了	4 件	5 件	1 件減

＜生活支援員及び担当職員の会議・研修実施＞ ※全てオンラインでの参加

研修名	開催年月日	内 容	参加人数
専門員実践力研修Ⅰ	令和2年8月・9月	中核機関設置・協議会運営について等	1名
専門員実践力研修Ⅱ	令和3年3月	事例検討等	1名

(2) 成年後見制度推進事業

古河市において、認知症や障害などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度を円滑に利用できる支援を行い、これらの方の権利を尊重し、擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることを目的とします。

＜成年後見制度の利用に関する相談＞

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
問合せ	2 7 件	1 0 件	1 7 件増
初回相談	4 6 件	3 7 件	9 件増
継続支援	4 4 件	3 6 件	8 件減

＜成年後見制度の利用に関する手続き支援＞

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
延べ支援	2 0 件	2 4 件	4 件減

＜市民後見人の選任＞

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
人数	0 人	0 人	増減なし
延べ件数	1 件	1 件	増減なし

＜市民後見人の育成に関すること＞

市民後見人養成講座修了者フォローアップ研修会

開催日 令和3年3月19日(金)

場 所 古河福祉の森会館

ボランティア活動センター

参加者 16名

- 内 容
- ・日常生活自立支援事業、
成年後見サポートセンターこが
の概要
 - ・事例検討
(市民後見人の活動について)



(3) 地域包括支援センター事業（古河地区・三和地区）

市の策定する古河市地域包括支援センター運営方針に則り、市と連携を図りながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送られるよう、保健・医療・介護・福祉の専門職種である保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種を配置し、下記の事業に取り組みました。

①介護予防・日常生活支援総合事業及び指定介護予防支援に関する業務

事業対象者及び予防給付の対象となる要支援認定者に対して、自立した生活が送れることを目的として、心身の状況や置かれている環境等を勘案した介護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防計画に基づく介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等との連絡調整などを行いました。

- ・ケアプラン(サービス利用計画書)の作成とケアマネジメント(サービスの利用調整)
- ・国民健康保険団体連合会給付管理事務（毎月）
※事業の一部について居宅介護支援事業所に委託しています。
- ・介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援計画作成件数

【古河地区】

ケアプラン作成数	R 2 年度	R 元年度	前年度比
センター作成	1, 6 9 0 件	1, 9 2 8 件	2 3 8 件減
委託事業所作成	4, 4 5 7 件	4, 5 1 0 件	5 3 件減
合 計	6, 1 4 7 件	6, 4 3 8 件	2 9 1 件減

【三和地区】

ケアプラン作成数	R 2 年度	R 元年度	前年度比
センター作成	9 9 4 件	9 9 6 件	2 件減
委託事業所作成	2, 0 2 6 件	1, 9 5 6 件	7 0 件増
合 計	3, 0 2 0 件	2, 9 5 2 件	6 8 件増

②総合相談支援業務・権利擁護業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、必要な支援を把握し、適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。また、権利擁護業務では、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題が解決できない等の困難な状況にある高齢者が、安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から高齢者の権利擁護のための必要な支援を行いました。

【古河地区】

相談件数	R 2 年度	R 元年度	前年度比
合 計	1, 6 2 7 件	1, 3 5 5 件	2 7 2 件増

【三和地区】

相談件数	R 2 年度	R 元年度	前年度比
合 計	6 1 3 件	6 0 9 件	4 件増

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域において多職種相互の協働等による、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントの実現を目指し、地域における連携・協働の体制づくりや、介護支援専門員に対する支援等を行いました。

【古河地区】

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
介護支援専門員との連携（相談・同行）	8 4 件	1 0 2 件	1 8 件減

【三和地区】

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
介護支援専門員との連携（相談・同行）	1 5 0 件	1 0 5 件	4 5 件増

④専門職からの在宅医療・介護に関する相談業務

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関や介護事業所等の専門職からの相談に応じ、関係者間の連携・協働の体制づくりに努めました。

【古河地区】

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
関係機関からの相談（医療機関等）	8 1 件	4 7 件	3 4 件増

【三和地区】

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
関係機関からの相談（医療機関等）	3 0 件	2 2 件	1 7 件増

⑤生活支援体制整備事業に関する業務

市が配置する生活支援コーディネーターと連携するとともに、必要な会議への参加、市民やサービス事業者など地域の関係者に対して普及啓発等、市と協働して取組みを推進しました。

・地域生活支えあい会議への出席

⑥認知症施策推進に関する業務

古河市が推進する認知症施策に取り組み、認知症の早期における症状悪化を防止するための支援や、その他の認知症またはその疑いのある高齢者に対する総合的な支援を行いました。

・認知症の個別相談日

古河市の家族介護支援事業の一環として認知症個別相談の窓口を古河地区では9月8日に、三和地区では6月9日と12月8日に開設しました。開設日以外にも年間を通じて、随時電話や窓口・訪問等により相談に応じました。

・認知症サポーター養成講座

古河市の実施する出前講座に講師として協力しました。こんな事も学んでいます！

【古河地区】（延べ受講者数 374名）

実施日	受講者	受講者数
R2.12.17	古河第七小学校6年生	107名
R3.2.19	古河第二中学校2年生	183名
R3.3.12	古河第二高等学校2年生	31名
R3.3.23	古河第三小学校5年生	53名

【三和地区】（延べ受講者数 9名）

実施日	受講者	受講者数
R2.11.16	大和田小学校4年生	9名

対応の7つのポイント

- 1、まずは見守る ...さりげなく
- 2、余裕を持って対応する ...落ち着いて
- 3、声をかける時は1人で ...怖がらせない
- 4、後ろから声をかけない ...驚かせない
- 5、相手に目線を合わせてやさしい口調で
- 6、おだやかに、はっきりした滑舌で
- 7、相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

⑦認知症高齢者行方不明等対応業務

担当圏域内で高齢者の行方不明事案が発生した際は、警察署や市の担当主管課や関係機関と連携や情報を共有し、家族に認知症への対応についての助言や、介護保険サービスの利用につなげるなど、再発防止に努めました。

【古河地区】

	R2年度	R元年度	前年度比
行方不明及び身元不明の対応	2件	3件	1件減

【三和地区】

	R2年度	R元年度	前年度比
行方不明及び身元不明の対応	10件	4件	6件増

⑧地域ケア個別会議の開催

担当圏域における高齢者の実態把握や課題解決にあたり、多職種の専門職による検討会議を開催して総合調整を図りました。会議では個別課題から地域の課題を把握し、解決に向けた関係機関の役割分担等を整理するなどネットワーク構築に努めました。

【古河地区】

	R2年度	R元年度	前年度比
開催回数	3回	6回	3回減
事例検討	4件	12件	8件減
参加者数	81名	189名	108名減

※3回中1回は地域ケア個別会議研修として実施しました。

【三和地区】

	R2年度	R元年度	前年度比
開催回数	4回	5回	1回減

事例検討	8 件	9 件	1 件減
参加者数	9 7 名	1 3 2 名	3 5 名減

(4) 生活支援体制整備事業

高齢者の自立した日常生活の支援及び要介護状態になることの予防または軽減、悪化の防止を図るため、高齢者の生活支援及び介護予防に係る支援体制の整備を推進することを目的とする事業です。

①地域生活支えあい会議（第1層協議体）の開催（全4回開催）

	開催日	内容	参加人数
第1回	書面開催	委嘱状交付 事業説明	
第2回	9月23日 (水)	コロナ禍の支え合い方法について 集いの場の再開方法について	15名
第3回	12月23日 (水)	コロナ禍での取り組みについて 第2層協議体設置について（進捗報告） 意見交換	9名
第4回	3月24日 (水)	地域生活支え合いリストの更新について（ホームページ） ふれあいいきいきサロン情報の更新について（ホームページ） 第2層協議体設置及び、取り組み状況について	14名

②第2層協議体設置のための学習会実施

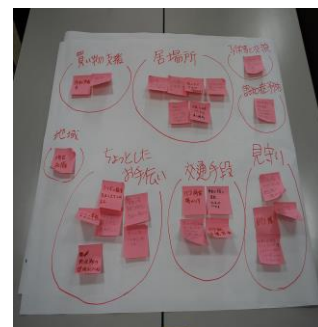
※新型コロナウイルス感染症の影響により学習会としては未開催とし、
設置に向けての個別相談対応として実施

地区	回数	開催日	協議内容	参加人数
第7地区	1回	12月18日（金）	第2層設置に向けての取り組み方法等について	3名（役員）
	2回	1月29日（金）	生活支援体制整備事業・地域力強化推進事業について	1名（事務局）
	3回	2月5日（金）	拠点づくり、広報誌づくりの協力について	1名（事務局）

様々な意見を出しあっています

③第2層協議体の開催

行政自治会 区分地区	第2層協議体名	R2年度	R元年度
第6地区	ほっこり6区	0回	9回
第7地区	第7地区コミュニティー	一回	一回
第9地区	SUN9サロン	0回	10回
第15地区	おたがいさま	1回	9回



④古河市認定ヘルパーの養成

古河市で介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、高齢者を支える担い手の整備が必要になりました。市の委託事業「生活支援体制整備事業」の一環で年2回実施し、「古河市認定ヘルパー」として市内業者での活躍につなげています。

第7回

開催日 令和2年11月19日（木）・20日（金）

会場 古河福祉の森会館

受講者 7名

内容 家事応援訪問サービス従事者としての心得や倫理他

第8回

開催日 令和3年2月18日（木）

19日（金）

会場 古河福祉の森会館 視聴覚室

受講者 8名

内容 第7回と同じ内容



⑤資源調査・実態把握

・ひとり暮らし高齢者給食サービス利用者宅訪問 1,042件（延べ）

・ふれあいいいきサロン訪問 5会場

・ももちゃんお助け隊利用者宅訪問 126件（延べ）

・地域のイベント・取り組みへの参加

※新型コロナウイルス感染予防の影響により参加なし

・第1回から第7回までの古河市認定ヘルパー研修修了者へのアンケートの実施

実施期間 令和3年2月5日～3月5日

対象人数 109名

⑥買い物支援検討会（モデル地域 大山在住の高齢者）

※新型コロナウイルス感染予防の影響により未実施

第1層協議体「地域生活支えあい会議」の中で福祉課題の抽出、課題解決の手段について検討し取り組みを具体化しました。資源調査の中で特に買い物支援の需要が高かった地域をモデルとして買い物の支援を必要としている人を大型店やショッピングモール等に送迎し、買い物支援・居場所・仲間づくりを目指しています。継続していく中で、施設や地域住民の協力も得られており今後の事業化や地域住民が主体となる取組としての可能性を検討しています。

	R2年度	R元年度	前年度比
実施日数	0日	11日	11日減
利用者累計（延べ）	0名	182名	182名減

- ⑦PR活動 ・ももちゃんブログ更新回数 27回
 ・古河市のサロン紹介作成（ホームページに掲載）
 ・地域生活支えあいリスト更新（ホームページに掲載）

（５）一般高齢者介護予防通所事業（ふれあいの湯）

家に閉じこもりがちであったり、要介護状態になるおそれのある高齢者（65歳以上）に対し、可能な限り居宅での自立した日常生活を営めるよう、社会的孤立感の解消、心身機能の維持回復を目的に、健康チェック、食事・入浴サービス、介護予防レクリエーション等の日常生活上の支援と機能訓練を行い高齢者の福祉向上に努めました。

新型コロナウイルス感染の影響による外出の機会減少や運動不足による体調への不安もあることから、事業の休止期間中は感染予防に十分配慮しながら利用者宅への訪問による健康相談を行いました。

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
実施日数	90日	166日	76日減
利用者累計	629名	1,128名	499名減
訪問日数	51日	16日	35日増
訪問者累計	402名	134名	268名増

（６）生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の相談に広く対応し、その者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認しながら個々の状態にあった支援プランを作成し、関連事業や関係機関との連携を含めた包括的な支援を行いました。

①自立相談支援事業

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
新規相談受付件数	709件	236件	473件増
プラン策定数	31件	29件	2件増
一般就労者数	32名	23名	9名増

②住居確保給付金事業

離職又は廃業等により経済的に困窮し、住居を喪失した者又は住居を喪失する恐れのある生活困窮者に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給することにより、住居と就労機会の確保に向けた支援を行いました。

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
住宅確保金支給決定	75名	3名	72名増
うち常用就職者	73名	3名	70名増

③家計相談支援事業

家計の見直しを行いながら、困窮世帯の家計管理能力の向上を図り、早期に生活を再生させる支援を行いました。

	R 2 年度	R 元年度	前年度比
家計相談利用者数	1 6 名	2 0 名	4 名減
家計再生プラン策定	1 6 名	2 0 名	4 名減

④ 自立相談支援機関等の強化事業 【令和 2 年度 1 0 月より】

面談に来所することが困難な生活困窮者に対し、関係機関と連携をしながらアウトリーチを中心とした支援を行いました。また、対象者が拡大された住居確保給付金について、申請や就労機会確保等の支援を行いました。

(7) デイステイ事業

障がい児(者)を介護している家族等が一時的に家庭においての介護が困難になったときに、障害児(者)を一定時間預かり家族の負担軽減を図るため、支援スタッフが身の回りの世話や援助のサービス提供を行いました。

＜実施施設：古河福祉の森会館＞

のぞみ	R 2 年度	R 元年度	前年度比
実施日数	2 2 9 日	2 5 3 日	2 4 日減
利用者累計	4 4 7 名	6 4 1 名	1 9 4 名減
利用時間累計	1, 3 3 7 時間	1, 7 3 9 時間	4 0 2 時間減
支援スタッフ	5 2 6 名	7 6 8 名	2 4 2 名減

＜実施施設：古河市三和地域福祉センター＞

さんわ	R 2 年度	R 元年度	前年度比
実施日数	2 4 日	1 8 日	6 日増
利用者累計	2 4 名	2 3 名	1 名増
利用時間累計	1 3 7 時間	1 3 0 時間	7 時間増
支援スタッフ	7 6 名	4 4 名	3 2 名増

(8) 地域力強化推進事業

すべての市民が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

- (1) 「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備

- ① 地域福祉に関する活動への地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援
(スタートアップ支援)

小学生の見守り活動と併せて、手指消毒活動を新たに実施	第 9 地区
コロナ禍でのコミュニティカフェ再開に向けてパーティションの購入・設置	第 1 5 地区
登下校の見守り隊を結成し、ベスト・たすきを購入	第 7 地区

②地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備（ホームページ支援）

屋外コミュニティカフェ開設のための屋外スペースの整備	第15地区
地域コミュニティサロン設置準備	第7地区

③地域住民に対する研修の実施
（ボランティア・プロモーション）

プロモーションビデオの活用
地域福祉活動マイスター認定制度の創設
ボランティアパスポートの制作



④多角的な手法による PR

オリジナルクリアファイルの作成 （動画再生 QR コード入り）
ももちゃんブログの更新



（2）「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備

地域で開設されているふれあいいきいきサロン実施団体（55カ所）にて、身近な圏域における地域のふくし相談窓口としての機能を依頼するとともに、社協広報誌（社協だより47号）に情報を掲載し開設を全戸に周知。

9. 指定管理事業

総和老人福祉センター「せせらぎの里」管理運営事業

<せせらぎの里運営>（指定管理者制度導入事業）

	R2年度	R元年度	前年度比
利用者累計（個人）	6,107名	27,960名	21,853名減
（団体）	13名	8,095名	8,082名減
浴場利用者数	6,107名	24,372名	18,265名減

①自主クラブ活動支援（各2回/月） 手芸クラブ、書道クラブ

※新型コロナウイルス感染症の影響と施設の利用制限により中止

②自主事業

施設利用の拡大及び公平な利用を図り、利用促進を目的に自主事業を行いました。

刃物研ぎ

開催日 令和2年11月18日（水）

件数 17名【令和元年度19件】

カラオケ大会 IN せせらぎの里

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止